

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月14日			
平成15年度	事業コード	11120	電話	042 769-9222
担当部課名	保健福祉部	地域福祉	課	福祉推進 班
事務事業名	あじさい会館等売店運営費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	福祉文化の創造とバリアフリーの推進	63以前年度
施策名	第2施策	地域で助け合う福祉活動の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市立市民福祉会館条例、同施行規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
あじさい会館売店については、売店販売員の人件費を助成することにより、障害者の職場の確保や障害者に対する理解を深め、福祉の向上を図る。また、高齢者の生きがいづくりの一環として、現在社会福祉協議会が経営する若竹園売店についても、平成10年度より福祉総務課(現在は地域福祉課)予算に一本化し運営費を助成することとしている。	市社会福祉協議会 対象数 1
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
売店販売員の人件費から売店収入を控除した額17,902千円(予算)を助成	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	売店収入寄与率	売店収入÷助成額	売店収入に対する助成額の割合から、助成効果(成果)をみる。	159	148	135	123	123
	売店売上増減率	(当該年度売店収入÷前年度売店収入)*100	売店売上の対前年度の比較から、事業の状況をみる。 *自動販売機の売上は除く	101	90	97	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	4	4	4	4	4
	人件費	17	17	17	17	17
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	16,913	16,781	17,919	19,613	19,613
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数	1	1	1	1	1
	対象の単位あたり経費	16,913.0	16,781.0	17,919.0	19,613.0	19,613.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	売店機能としては一定水準を保っていると考えられる。経費に対する効果としては、事業の性格上達成度は低いため、中庸の評価とした。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある あじさい会館等の機能として必要な機能と考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	会館等の機能として有効であるほか、障害者等の雇用面でも有効である。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 売店売上に関する効率性については劣るが、事業の目的や性格に照らせば許容範囲と考えられる。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 会館機能としての売店の運営方法等について見直しを行うことにより、一定の成果向上は有り得ると考えられる。	手段	売店運営の内容を見直すとともに、売上額の増加に努めること。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 データなし
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 売店の運営方法(営業時間、人員数)について、職員の処遇を含めて社協と協議し、改善に向けた見直しを行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

費用対効果の点からあり方を見直すこと
